

MIC Worship Service – 2024.10.13

Title: "*Partners in the Gospel*"

Text: Philippians 1:3~11, NIV

MIC礼拝 - 2024.10.13

『宣教のパートナー（協力者）』

聖書箇所：ピリピ人への手紙 1章3節~11節（新改訳）

*<sup>3</sup> I thank my God every time I remember you. <sup>4</sup> In all my prayers for all of you, I always pray with joy <sup>5</sup> because of your partnership in the gospel from the first day until now, <sup>6</sup> being confident of this, that he who began a good work in you will carry it on to completion until the day of Christ Jesus.*

*<sup>7</sup> It is right for me to feel this way about all of you, since I have you in my heart and, whether I am in chains or defending and confirming the gospel, all of you share in God's grace with me. <sup>8</sup> God can testify how I long for all of you with the affection of Christ Jesus.*

*<sup>9</sup> And this is my prayer: that your love may abound more and more in knowledge and depth of insight, <sup>10</sup> so that you may be able to discern what is best and may be pure and blameless for the day of Christ, <sup>11</sup> filled with the fruit of righteousness that comes through Jesus Christ—to the glory and praise of God.*

3 私は、あなたがたのことを思うごとに私の神に感謝し、4 あなたがたすべてのために祈るごとに、いつも喜びをもって祈り、5 あなたがたが、最初の日から今日まで、福音を広めることにあずかって来たことを感謝しています。6 あなたがたのうちに良い働きを始められた方は、キリスト・イエスの日が来るまでにそれを完成させてくださることを私は堅く信じているのです。

7 私があなたがたすべてについてこのように考えるのは正しいことです。あなたがたはみな、私が投獄されているときも、福音を弁明し立証しているときも、私とともに恵みにあずかった人々であり、私は、そのようなあなたがたを、心に覚えているからです。8 私が、キリスト・イエスの愛をもって、どんなにあなたがたすべてを慕っているか、そのあかしをしてくださるのは神です。

9 私は祈っています。あなたがたの愛が真の知識とあらゆる識別力によって、いよいよ豊かになり、10 あなたがたが、真にすぐれたものを見分けることができるようになりますように。またあなたがたが、キリストの日には純真で非難されるところがなく、11 イエス・キリストによって与えられた義の実に満たされている者となり、神の御栄えと誉れが現されますように。

## Introduction

Partnerships are powerful. Whether in business, marriage, or friendship, when people come together with a common purpose, they can accomplish extraordinary things. Today, we'll explore the idea of partnership in a very specific context: **advancing the gospel**. In his letter to the Philippians, Paul writes about the joy and gratitude he feels because of their partnership in the gospel. What can we learn from this about our role in supporting and advancing God's mission in the world?

パートナーシップ（協力関係を結ぶこと）によって大きな力がうまれます。ビジネスであれ、結婚であれ、友情であれ、人々が共通の目的を持って集まれば、大きなことを成し遂げることができるのです。今日は、**宣教活動**について非常に具体的なことが書かれている、ピリピ人への手紙1章を読んで、パートナーシップ（協力関係を結ぶこと）についての考えを探ってみましょう。パウロは、ピリピ人への手紙の中で、宣教活動をするピリピ人たちのパートナーシップのおかげで感じる事ができた喜びと感謝について書いています。私たちには、神から与えられた使命を

この世に広めていくという役割があります。私たちはこの箇所から、その使命と役割についてどのようなことを学ぶことができるのかを、見ていきましょう。

## I. Gratitude for Gospel Partnerships – verses 3-5

まず、この箇所では、『福音のパートナーシップ（協力関係）に対する感謝』について書かれています。

### I. 福音のパートナーシップ（協力関係）に対する感謝 - 3-5節

*<sup>3</sup> I thank my God every time I remember you. <sup>4</sup> In all my prayers for all of you, I always pray with joy <sup>5</sup> because of **your partnership in the gospel** from the first day until now*

3 私は、あなたがたのことを思うごとに私の神に感謝し、4 あなたがたすべてのために祈るごとに、いつも喜びをもって祈り、5 **あなたがたが**、最初の日から今日まで、**福音を広める**ことにあずかって来たことを感謝しています。

Paul's joy and gratitude are unmistakable here. The Philippian church wasn't just a group of distant acquaintances; **they were deeply involved in Paul's ministry**. They partnered with him by praying for him, supporting him financially, and even sending aid when he was in need (Philippians 4:16). *This partnership went beyond words—it was action!!!*

この箇所では、パウロの喜びとピリピ人への感謝がまぎれもなく表れています。**ピリピ教会の人々は単なる遠い知り合いの集まりではなく、パウロの働きに深く関わっていました**。彼らは、パウロのために祈り、パウロを経済的に支え、パウロが困っているときには援助物資を送るなどして、パウロとパートナーシップ（協力関係）という立場にあったのでした（ピリピ4:16）。このようなパートナーシップは言葉を越えたものだったのです。

**Philippians 4:16 - for even when I was in Thessalonica, you sent me aid more than once when I was in need.**

ピリピ人への手紙 4章 16節—16 テサロニケにいたときでさえ、あなたがたは一度ならず二度までも物を送って、私の乏しさを補ってくださいました。

The Macedonian churches, including Philippi, gave generously even in their poverty to support other believers. This was a tangible expression of their partnership in the gospel.

ピリピを含むマケドニアにある諸教会は、他の信者を支えるために、たとえ貧しくても惜しみなく献金しました。そうすることによって、彼らは福音に対しての支援の大きさを具体的に示していたのでした。

**2 Corinthians 8:1-5 – And now, brothers and sisters, we want you to know about the grace that God has given the Macedonian churches. <sup>2</sup> In the midst of a very severe trial, their overflowing joy and their extreme poverty welled up in rich generosity. <sup>3</sup> For I testify that they gave as much as they were able, and even beyond their ability. Entirely on their own, <sup>4</sup> they urgently pleaded with us for the privilege of sharing in this service to the Lord's people. <sup>5</sup> And they exceeded our expectations: They gave themselves first of all to the Lord, and then by the will of God also to us.**

コリント人への手紙 第二 8章 1-5節—1 さて、兄弟たち。私たちは、マケドニヤの諸教会に与えられた**神の恵み**を、あなたがたに知らせようと思います。2 苦しみゆえの激しい試練の中に

あっても、彼らの満ちあふれる喜びは、その極度の貧しさにもかかわらず、あふれ出て、その惜しみなく施す富となったのです。3 私をあかしします。彼らは自ら進んで、力に応じ、いや力以上にささげ、4 聖徒たちをささえる交わりの恵みにあずかりたいと、熱心に私たちに願ったのです。5 そして、私たちの期待以上に、神のみこころに従って、まず自分自身を主にささげ、また、私たちにもゆだねてくれました。

**ILLUSTRATION:** The early church in Acts provides another powerful example of partnership. In Acts 4:32-35, we see how believers shared everything they had so that no one was in need. <sup>32</sup> *All the believers were one in heart and mind. No one claimed that any of their possessions was their own, but **they shared everything they had**.* <sup>33</sup> *With great power the apostles continued to testify to the resurrection of the Lord Jesus. And **God's grace was so powerfully at work in them all*** <sup>34</sup> *that **there were no needy persons among them**.* For from time to time those who owned land or houses sold them, brought the money from the sales<sup>35</sup> and put it at the apostles' feet, and it was distributed to anyone who had need.

使徒の働き 4 章 3 2 - 3 5 節に登場する初代教会は、パートナーシップのもうひとつの例を以下のように示しています。

32 信じた者の群れは、心と意思を一つにして、だれひとりその持ち物を自分のものと言わず、すべてを共有にしていた。33 使徒たちは、主イエスの復活を非常に力強くあかしし、大きな恵みがそのすべての者の上にあった。34 彼らの中には、ひとりも乏しい者がなかった。地所や家を持っている者は、それを売り、代金を携えて来て、35 使徒たちの足もとに置き、その金は必要に従っておのおのに分け与えられたからである。

This mutual support fueled the spread of the gospel, as people were drawn to the love and unity of the believers.

このような信者たちの相互の支え合いを見ることによって、他の人々は信徒たちの愛と彼らの団結力に惹かれ、福音の広がりには拍車がかかっていったのでした。

**APPLICATION:** We are called to be partners in the gospel today, just as the Philippians were in Paul's time. How can we express this partnership?

- Supporting **missionaries** (e.g., a Japanese family that now serves in Indonesia; I won't mention their names for security reason, but we can give more information in private; also, Nina's older brother, Joboy and his wife, in the Philippines);
- Supporting **local ministries** (*Word of Life Press; Japan CCC; our sister church, a Filipino group in Kyoto City, etc.*); and,
- Supporting **church planting efforts** (The book, Operation Japan published in 2019, states that Japan has 814 cities. Out of those, 102 cities have only one (1) church each and 18 cities have **no church** at all! Also, there are 1,616 identified foreign missionaries. The missionary/population ratio is 1:79,150 (= one missionary must reach out to 79,150 people).

パウロの時代にピリピの人々がそうであったように、私たちは今日、福音のパートナー（協力者）となるよう求められています。では、私たちはこのパートナーシップをどのように表すことができるのでしょうか？その方法には以下のようなものがあります。

- 宣教師を支援することによって  
(例えば、現在インドネシアで奉仕している日本人の家族たちを支援することです。後ほど、個別に詳しいこととお話ししたいと思いますが、安全上の理由から、ここでは彼らの名前を伏せておきます。また、フィリピンにいるニーナのお兄さんのジョボイとその妻も同様に宣教活動をしています。)

- **地域のミニストリー・奉仕活動**を支援することによって  
(例えば、いのちのことば出版社、日本CCC、姉妹教会である京都市のフィリピン人グループなどの団体)
- **教会の拡大運動**を支援することによって  
(2019年に出版された『オペレーション・ジャパン』という本によると、日本には814の都市があり、そのうち102の都市には教会が1つしかなく、18の都市には教会が全くないそうです。また、日本全国では、1616人の外国人宣教師がいることが確認されています。ですから、宣教師と人口の比率は1：79,150、すなわち、1人の宣教師が79,150人に手を差し伸べなければならない。ということになります。)

Supporting **financially** is one way. But it doesn't end there. We are also called to partner through **prayer, encouragement**, and even **personal involvement**. Ask yourself, "How can I be an active partner in advancing the gospel?"

**金銭的**に支援するのも一つの方法でしょう。しかし、金銭だけではなく、私たちはまた、祈りや励まし、さらには個人的な関わりを通して協力し合うべきなのです。『福音を広げるために、私はどのように積極的な協力ができる（積極的なパートナーになれる）だろうか?』と自問してみてください。

## II. Confidence in God's Work Through Our Partnerships – verse 6

次に、この箇所では、『パートナーシップ（協力関係）を通して神の御業を確信する』ことが書かれています。

### II. パートナーシップ（協力関係）を通して神の御業を確信する-6節

**6 being confident of this, that he who began a good work in you will carry it on to completion until the day of Christ Jesus.**

6 あなたがたのうちに良い働きを始められた方は、キリスト・イエスの日が来るまでにそれを完成させてくださることを私は堅く信じているのです。

Paul was confident that God was at work in the Philippians, and that this work would continue until Christ's return. ***Their partnership wasn't just a one-time act***; it was part of a lifelong journey of gospel advancement. Paul believed that the work of the gospel—both in the Philippians and through them—***would be brought to completion by God Himself.***

パウロは、神がピリピの人々のうちに働いておられ、その神の働きはキリストの再臨まで続くと確信していたのでした。**彼らのパートナーシップ（協力関係）は一時的なものではなく、福音を伝え広げるといふ生涯の旅の一部となったのです。**パウロは、ピリピの人々の内に働いた福音も、ピリピの人々を通して働いた福音も、共に、**神ご自身が完結してくださるのだと信じていました。**そのことが、コリント人への手紙 第一 3章6-7節に書かれています。

**1 Corinthians 3:6-7 – 6 I planted the seed, Apollos watered it, but God has been making it grow. 7 So neither the one who plants nor the one who waters is anything, but only God, who makes things grow.**

コリント人への手紙 第一 3章6-7節—6 私が植えて、アポロが水を注ぎました。しかし、成長させたのは神です。7 それで、たいせつなのは、植える者でも水を注ぐ者でもありません。成長させてくださる神なのです。

Paul reminds the Corinthian church that while one plants and another waters, it is God who makes things grow. In other words, our partnerships are essential, but it's ultimately God who brings the fruit.

すなわち、パウロはコリント教会に植物を喩えにして、ひとりの人が植え、別の人が水をやる一方で、物事を成長させるのは最終的には神なのだと伝えているのです。つまり、私たちが協力し合うことはもちろん不可欠なのですが、最終的に実を結ばせるのは神なのだと教えてくれています。

**ILLUSTRATION:** Consider the story of Nehemiah. When he was rebuilding the walls of Jerusalem, the people worked together tirelessly, each person taking responsibility for a section of the wall (Nehemiah 3). They were confident that God was with them, and despite opposition, they completed the work. Similarly, we trust that God will bring to fruition the gospel work that we are involved in, both locally and globally.

ここで、ネヘミヤの物語を考えてみましょう。ネヘミヤがエルサレムの城壁を再建したとき、人々はたゆまず協力し合い、それぞれが城壁の一部を担当しました（ネヘミヤ記3章）。彼らは神が共におられると確信し、反対勢力があったのにもかかわらず、その仕事を完成させました。それと同様に、私たちが携わっている福音の働きが、地域的にも世界的にも、最終的には神が成就させてくださることを信じましょう。

**APPLICATION:** When you support a missionary (individuals/families), ministry (DMI, Bible Schools, etc.), or church (MIC), you are sowing seeds of the gospel. Sometimes, we may not see immediate results, but we can trust that God is faithfully working.

あなたが、宣教師（個人／家族）、ミニストリー・奉仕活動（DMI、聖書学校など）、教会（MIC）を支援するならば、あなたは福音の種を蒔いているのです。すぐに結果が出ないこともありますが、神が確実に働いておられると信じてください。

Be encouraged—God will bring to completion the work He begins through our partnerships. **Stay committed**, whether ***through giving, prayer, or serving, and trust God*** to bring the increase.

励まし—神は、私たちのパートナーシップ（協力関係）から始まった働きは完成させると言っておられます。献金、祈り、奉仕など、どのような形であれ、献身的に取り組み続け、神様があなたの業を増し加えてくださることを信じましょう。

### III. The Depth of Love in Gospel Partnerships – verses 7-8

次は、『宣教のパートナーシップ（協力関係）における愛の深さ』についてお話ししましょう。

#### III. 宣教のパートナーシップ（協力関係）における愛の深さ 7-8節

*<sup>7</sup> It is right for me to feel this way about all of you, **since I have you in my heart** and, whether I am in chains or defending and confirming the gospel, all of **you share in God's grace with me**.<sup>8</sup> God can testify **how I long for all of you with the affection of Christ Jesus**.*

<sup>7</sup> 私があなたがたすべてについてこのように考えるのは正しいことです。あなたがたはみな、私が投獄されているときも、福音を弁明し立証しているときも、**私とともに恵みにあずかった人々**であり、私は、**そのようなあなたがたを、心に覚えているからです**。<sup>8</sup> **私が、キリスト・イエスの愛をもって、どんなにあなたがたすべてを慕っているか、そのあかしをしてくださるのは神です**。

Paul's partnership with the Philippians was marked by **deep love** and **affection**. They didn't simply give resources—they shared in his sufferings, supported him in times of trial, and defended the gospel alongside him. Their partnership was built on the foundation of Christ's love, which bound them together in a powerful way.

パウロとピリピの人々とのパートナーシップには、**深い愛と優しい愛情**がありました。ピリピの人々は単に財源を与えるだけでなく、パウロの苦しみを共にし、試練の時に彼を支え、パウロと共に福音を伝えたのでした。パウロとピリピの人々とのパートナーシップは、キリストの愛という土台の上に築かれ、そのキリストの愛が彼らを力強く結びつけたのです。

The Philippian believers were deeply invested in Paul and his ministry. They were committed in supporting him. It's a practical demonstration of what Jesus said in the Gospel record.

ピリピの信徒たちは、パウロと彼の働きに深く傾倒していました。そして彼らは、パウロをとっても献身的に支えました。ピリピの人々は、福音書に記されているように、イエスの言ったことを実際に行ってみせたのです。

Matthew 6:20~21 - <sup>20</sup> *But store up for yourselves treasures in heaven, where moths and vermin do not destroy, and where thieves do not break in and steal.* <sup>21</sup> **For where your treasure is, there your heart will be also.**

マタイの福音書6章20-21節—<sup>20</sup> 自分の宝は、天にたくわえなさい。そこでは、虫もさびもつかず、盗人が穴をあけて盗むこともありません。<sup>21</sup> **あなたの宝のあるところに、あなたの心もあるからです。**

In Romans 12:10 Paul encourages believers to **“be devoted to one another in love”** and to **“honor one another above yourselves.”** This is the kind of love that fuels gospel partnerships.

ローマ人への手紙12章10節で、パウロは信者に「**愛をもって互いに献身し**」、「**自分よりも互いに尊び合う**」ように勧めている。これこそが、福音のパートナーシップを促進する愛なのだ。

ILLUSTRATION: In John 13:34~35, Jesus tells His disciples, **“A new command I give you: Love one another. As I have loved you, so you must love one another.”** This love is the foundation of Christian community and partnership. The world will know we are Christ's disciples by our love for one another.

ヨハネによる福音書13章34~35節で、イエスは弟子たちに言われました。**互いに愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。**この愛は、クリスチャンの共同体とパートナーシップの基礎となります。そして、私たちがキリストの弟子であることは、私たちが互いへの愛を示すことによって世に知られることになるのです。

APPLICATION: *Gospel partnerships should be more than transactional—they **should be relational.*** Do you know the missionaries or ministries you support? Do you pray for them personally and regularly? Perhaps God is calling you to deepen your connection with those you partner with, to share in their joys and struggles, and to support them with Christlike love.

福音のパートナーシップが、単なる取引のような事務的なものになってしまっってはいけません。私たちは、**もっと関りを持つべきなのです**。あなたは、自分が支援している宣教師やミニストリー（宣教活動）のことをどれだけ知っているでしょうか？彼らのために、個人的に定期的に祈っていますか？神は、あなたが、パートナーとなっている宣教師たちとのつながりを深め、宣教師

たちの喜びや苦労を分かち合い、キリストのような愛をもって彼らを支援するように、あなたを招いておられるのです。

#### IV. Growing Together in Love, Knowledge, and Discernment – verses 9~11

そして最後に、『愛と知識と識別力（分別する力）において共に成長する』ことについてお話しします。

#### IV. 愛と知識と識別力（分別する力）において共に成長する-9-11節

*<sup>9</sup> And this is my prayer: that your love may abound more and more in knowledge and depth of insight, <sup>10</sup> so that you may be able to discern what is best and may be pure and blameless for the day of Christ, <sup>11</sup> filled with the fruit of righteousness that comes through Jesus Christ—to the glory and praise of God.*

9 私は祈っています。あなたがたの愛が真の知識とあらゆる識別力によって、いよいよ豊かになり、10 あなたがたが、真にすぐれたものを見分けることができるようになりますように。またあなたがたが、キリストの日には純真で非難されるところがなく、11 イエス・キリストによって与えられた義の実に満たされている者となり、神の御栄えと誉れが現されますように。

Paul's prayer for the Philippians wasn't just for their partnership to continue, but for them to grow in love, knowledge, and discernment. He wanted their love for Christ and for one another to deepen and mature, so that they would be equipped to live out their calling in a way that honored God.

パウロがピリピの信徒たちのために祈ったことは、ピリピの人々との協力関係が続くようにと祈っただけでなく、彼らが愛と知識と識別力において成長するようにと祈ったのでした。パウロは、ピリピの信徒たちが、キリストへの愛を持ち、そして互いへの愛を深め、成熟し、神を敬う生き方で召命を全うできるようにと望みました。

**ILLUSTRATION:** In Luke 10:38~42, we see Jesus' interaction with Mary and Martha. While Martha was busy with tasks, Mary chose to sit at Jesus' feet and learn from Him. Jesus commended Mary for choosing what was better. In our gospel partnerships, we must prioritize growing in knowledge and love for Christ, which will naturally flow into fruitful ministry.

ルカによる福音書10章38~42節では、イエスとマリアとマルタとの交わりについて書かれています。マルタがイエスをもてなすために忙しくしている間、マリアはイエスの足もとに座り、イエスから学ぶことを選びました。そしてイエスは、より良いものを選んだマリアを称賛したのでした。福音を広めるパートナーとして、私たちはキリストに対する知識とキリストへの愛を成長させることを優先しなければならないのです。

**APPLICATION:** As partners in the gospel, we are called to constantly grow in our faith, love, and discernment. This means investing time in studying God's Word, praying for wisdom, and seeking to live out our faith with integrity. **A growing partnership is a healthy partnership.** Encourage those you support to keep maturing in their faith, and commit to your own spiritual growth as well.

福音を広めるパートナーとして、私たちは常に、信仰と愛と識別力を成長させるよう求められています。それは、神の御言葉を学び、知恵を求めて祈り、誠実に信仰を実践するために時間を費やすことを意味します。**成長するパートナーシップは健全なパートナーシップです。**あなたが支

援している人々が、信仰において成長し続けるように励ましましょう。そして、あなた自身も霊的に成長し続けることを約束してください。

## Conclusion

*Let us become active Partners in the Gospel!*

福音を広げるために、活動的なパートナーになりましょう。

Paul's gratitude for the Philippians shows us the deep value of gospel partnerships. **The work of advancing the kingdom of God is not a solo mission—it's a communal effort.** Whether through financial support, prayer, or personal involvement, each of us has a role to play in this great mission.

この箇所では、パウロがピリピ人へ感謝の気持ちを表したことによって、宣教のパートナーシップに対する大いなる価値が示されています。**神の国を広げていく働きは、一人だけの使命ではありません。私たちみんなの働きが必要なのです。** 経済的支援であれ、祈りであれ、個人的な関わりであれ、私たち一人ひとりがこの偉大な使命に対して果たすべき役割を担っているのです。

As we reflect on this passage, **let's commit to being faithful partners in the gospel.** How is God calling you to be more active in supporting His mission? Perhaps it's through prayer, financial support, or even taking a more direct role in mission work. Whatever it may be, remember that **our partnerships are ultimately to the glory and praise of God.**

この箇所を振り返りながら、**宣教活動のための忠実なパートナー（仲間）となることを約束しましょう。** 神の使命を支えるためにより積極的になるよう、神はあなたにどのように呼びかけておられますか？ 祈りや金銭的な支援、あるいは宣教活動により直接的な役割を果たしなさいとっておられるかもしれません。それが何であれ、**私たちのパートナーシップは最終的には、神の栄光と賛美のためにあることを忘れないでください。**

**Closing Prayer:** "Lord, thank You for the opportunity to be partners in the gospel. Help us to be faithful in supporting Your mission, whether through giving, prayer, or personal involvement. Teach us to grow in love, knowledge, and discernment as we serve together for Your glory. Strengthen the partnerships we have, and may Your gospel continue to advance throughout the world. In Jesus' name, Amen."

### 結びの祈り

「主よ、福音のパートナーとなる機会を与えてくださったことを感謝します。献金、祈り、個人的な関わりなどを通して、私たちがあなたの宣教を忠実に支えることができるように助けてください。あなたの栄光のために共に仕える時、私たちが愛と知識と識別力において成長できるように示してください。私たちのパートナーシップを強め、あなたの福音が世界中で広がり続けることができますように。イエスの御名によって、アーメン。」